

秋田市教育委員会  
会 議 録

令和6年2月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和6年2月定例会会議録

- 1 日 時 令和6年2月15日（木曜日）  
午後3時30分～午後4時20分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員  
教育委員  
教育委員
- 4 出席職員 教育次長  
教育次長  
総務課長  
総務課参事  
学事課長  
学校教育課長  
教職員室長  
教育研究所長  
学校適正配置推進室長  
生涯学習室長  
秋田商業高等学校長  
秋田商業高等学校事務長  
御所野学院高等学校長  
御所野学院高等学校事務長  
美大附属高等学院副校長  
美大附属高等学院事務長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
学校教育課副参事  
教育研究所副参事

学校適正配置推進室副参事  
学校教育課主席主査  
教育研究所主席主査  
総務課主査  
学事課主査  
総務課主任

## 5 議 題

### 【教育長等の報告】

- (1) 市立高等学校等の入学者選抜志願者状況等について
- (2) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について
- (3) 「秋田っ子・あい調査」について
- (4) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【令和6年1月臨時会および1月定例会会議録の承認】

令和6年1月臨時会および1月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【教育長等の報告】

- (1) 市立高等学校等の入学者選抜志願者状況等について

教育長 報告(1)「市立高等学校等の入学者選抜志願者状況等について」、事務局から説明願う。

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 御所野学院高等学校だが、恐らくこのスタイルになってから、初めて1倍を超えたのではないか。認知されてきている

とともに、御所野学院高等学校の良さが広がっていることもあるのではないかと考えている。今後も、さらに盛り上げて行くようにお願いしたい。

秋田商業高等学校に関しては、今年から募集人員が減り、倍率が上がったが、本市の経済を引っ張っていくような優れた人材を輩出していただければと思う。

委員 秋田商業高等学校に関してだが、募集人員が減り、倍率が上がったことに加えて、志願者数も昨年度に比べ、とても増えている。何か力を入れたことやアピールした点はあるのか。

秋田商業高等学校長 募集人員を30名減らしたことや前年度に定員割れしたことが、主な要因と考えている。また、過去3年間で2回定員割れしているため、例年より中学校への学校訪問を増やし、PRに努めたことが成果につながったものと考えている。

教育長 特に、秋田商業高等学校の特色選抜の志願者が増えているが、中学校との連携にもかなり力を入れたのか。

秋田商業高等学校長 秋田市内の中学校の部活動を中心に訪問したことが、成果につながったものと考えている。

委員 秋田商業高等学校に学校訪問させていただいたが、特色ある学校作りや生徒の可能性を伸ばす教育課程に工夫があると感じた。そのような点や中学校の連携により、広く認知されてきているのではないかと思う。

また、美大附属高等学院についてだが、先日、秋田県立美術館で作品展「明日のクリエイターたち」を拝見させていただいた。受付でも明るい笑顔で迎えてくださったことに加え、大変魅力的なみずみずしい感覚の作品が展示されていた。このような積み重ねからたくさんの方々に周知されていると実感した。

御所野学院高等学校に関しては、学校の取組が認知されてきており、倍率にも表れてきていることを大変うれしく感じる。



にコロナ禍で落ち込んでいたものが、運動機会が増えたことにより、回復傾向にあると捉えてよいか。

教育研究所長 コロナ禍の影響もあり、全国、本市ともに落ち込んでいる状態だった。

本市においては、感染症対策を行いながら、各校で運動機会の充実に努めていたこともあり、回復傾向にあると捉えている。

教育長 全国的に中学校女子の体力合計点が下がってきている。本市においても全国と同様に下がってきているというところが課題ということか。この点については、どのように考えているのか。

教育研究所長 運動習慣の二極化が、国でも課題となっている。本市でも、中学校女子において、特に大きいと捉えている。

委員 中学校女子に関してだが、質問紙調査結果によると全国より高い意識という結果が得られている。二極化という話であったが、実際の行動部分を伸ばしていくための方法として、どのように考えているのか。

教育研究所長 学校訪問等において、運動に苦手意識を持っている子どもたちへの支援のあり方について全教員に指導を実施していくことを考えている。運動機会が減ってきているということは、小中学校の男女ともに否めないところではあるが、まずは、体を動かすことが好きになれば、運動習慣が身に付いていくのではないかと考えている。

委員 4ページの小学校男子、女子ともに50m走が全国平均を下回っているが、20mシャトルランが、全国平均を上回っていることについては、どのように分析しているのか。

教育研究所長 明確な要因は分からないが、20mシャトルランに関しては、令和3、4年度ともに低い結果となっていたが、今回は全国平均を少し上回った。本市では、コロナ禍においても各校において、工夫して授業をしていたからではないかと捉え

ている。

教育長

20mシャトルランは持久力、50m走は短距離の走力ということになる。秋田市、秋田県ともに短距離走の走力に関しては、継続的な課題であるので、各校で取り組んでいると思うが、今後も継続的に取り組んでいかなければいけない課題であると考えている。

委員

7ページの今後の取組で、小学校、中学校ともにICT機器を活用するとあるが、とても効果的であると思う。自分の姿は、自分では分からないので、客観的に捉えられ、即座に様子を見ながら考えることで、自分の動きを意識する機会になる。

また、アドバイスし合うという学び合いに結び付けるなどとても工夫されており、ICT機器も活用できる良い取組だと感じた。

小学校の1項目めにある運動を増やしたいという意味合いだと思うが、業間運動などは、どのようなイメージか。

教育研究所長

業間運動については、各校において様々な取組が行われている。例えば、長休みの間にできるだけグラウンドに出てみんなで走ったり、ホールに行つて様々な物を使い、運動してみたりというように、子どもたちが、体力づくりに、主体的に、楽しみながら臨めるように工夫されている。

外遊びについては、なかなか公園で遊ぶということも難しくなってきたので、PTAの機会などを通じて保護者に呼び掛けているというのが実情である。

委員

主体的に楽しみながらということで、様々な方法が考えられており、良いと思う。最近、公園で遊ぶこともできなくなってきたので、体力づくりにおいて、学校に期待されている部分は多いと改めて感じた。

委員

5ページの小学校、中学校の睡眠時間について、全国平均を下回っている。7ページの家・地域との連携した取組で、

家庭で睡眠時間を確保するようにしてもらいたい必要があると思うが、何か具体的な啓発方法は考えているのか。

教育研究所長

例えば、来年度の教職員研修会や教科総会等で先生方に伝えたり、学校訪問の際に情報提供をしたりということを皮切りにやっていかなければいけないと考えている。世界的に見ても日本人の睡眠時間が非常に少ないということが問題になっている。OECD33か国のうちで日本が最低ということもあり、国でも睡眠についてのガイドラインを作っている。

睡眠の質も大事だが、ガイドラインでは、小学校の基準が9時間から12時間、中高生の基準が8時間から10時間の睡眠時間を確保することが推奨されている。なかなか難しいが、これを1つの目安として伝えていくことも大切だと考えている。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

(3) 「秋田っ子・あい調査」について

教育長

報告(3)「「秋田っ子・あい調査」について」、事務局から説明願う。

教育研究所長

(資料に基づき説明)

委員

この調査の結果について、各校に送付とあるが、保護者まで公開するというイメージで良いか。

教育研究所長

どこまで公開するかは、決まっていない。各校で調査を実施した後は、すぐに各校で結果を把握することができるので、各校から集まった結果を本市のデータとして各校にフィードバックすることは考えている。公表に当たっては、各校が学校評価のような形で公表することも考えられると検討委員会の中でも話題に上がっているので、秋田市全体としてどうするかは、もう少し検討していきたいと考えている。

教育長

秋田市全体の結果であれば、本市の子どもたちの意識や学



び方の状況ということで、公開できるものかと思う。

ここで質問だが、本調査に回答した子どもは、自身の回答シートを確認できるのか。

教育研究所長

子どもたちは、タブレットに紐付けられた自分のアカウントを用いてMicrosoft Formsから回答するので、Microsoft Formsの中に過去に自分が回答したデータが蓄積されていく。中には、紙ベースでもあった方が良いと考える学校もあるかと思うので、7月と12月にどのように回答したかというのが反映される個人シートを作成することも考えている。

委員

質問項目に関しては、何か参考にしたものがあるのか。それともゼロから作成したのか。また、事前に項目に対して、この質問は、「徳」を表すのか、「知」を表すのかといった検証をしたのか。

さらに、先ほど個人シートを返していくことを考えているということだったが、1項目に対しての返答なのか、それとも全体を分析した結果なのか。

教育研究所長

7月調査は、トータルで80問ある。国の全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力、運動習慣等調査と同じ質問が19問ある。それ以外については、他の自治体で実施しているものも参考にしたが、基本的には、秋田市が目指す子どもの姿というものをベースに、検討委員会において練り上げた。

個人シートについてだが、どのような形式が良いのかを考えている状況である。過去に回答したものをそのままの形式で出すのか、レーダーチャートのようなものにするかなど、今後、研究していく。

委員

正式な質問紙というよりは、アンケートとして実施するという理解で良いか。

教育研究所長

学術的な裏付けがあるというわけではなく、あくまでも本市が目指す子どもたちの姿というものをイメージして作った

ものである。「調査」にしたら良いのか、「アンケート」にしたら良いのかは、悩んだところである。検討委員会では、「アンケート」とした時に、学校での取扱いが少し軽くなってしまわないかという意見があった。

項目については、「学校教育の重点」で「郷土」、「ふるさと」に関する質問は「徳」に入っているが、「徳」に「ふるさと」を盛り込んでしまうと「徳」が多くなり、子どもたちが疲れるのではないかなどの意見があった。子どもたちの姿を思い描きながら検討した。

教育長

逆に言うと、ここに書かれている調査項目が、ある意味、子どもたちに対して意識してほしいというメッセージと考えたら良いのかと思う。今回、「【ふるさと】秋田に生きる」というページがある。実際、来年度も検討委員会は継続されるようなので、この設問で子どもたちの意識が十分見えてきたか、もしくは、もう少し角度を変えたり、掘り下げの方が良いのかも検討しながら、さらにバージョンアップしていくことを期待している。

委員

よく考えられ、願いを持って作られた調査だと思う。個人シートについてだが、教師も子どもも共有して、この姿を目指していくということが具体的に分かることによって自分の行動が変容していくということは、よく言われる。

教師の思いや学校の目標が、子どもたちに伝わっていないという経験がある。もっと具体的に子どもと共有することによって意識化を図り、行動の変容を図っていくという意味合いで大変価値のあるものになっていくのではないかと期待している。

ここで質問だが、調査方法、調査時間等に関して2単位時間程度を想定しているとのことであったが、何の授業として換算するのか。

教育研究所長

これから校長会会長に相談し、具体的に詰めていきたいと

考えている。3月の校長会では、本日使った資料のほかにも、学校で実施した場合を想定した資料を用い、具体的にイメージできるよう工夫していきたいと思っている。

※ 報告(3)については、以上のとおり終了した。

(4) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(4)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

委員 飯島小、下新城小、金足西小学校の統合検討委員会については、ひとまず、飯島小、下新城小の2校で行うことになり、金足西小については、今後検討を継続するとあるが、どのような形で検討していくのか。

学校適正配置推進室長 金足西小については、児童数の将来推計を見ると、今後も減少することを皆さんが認識していた。そのため、先に統合を検討する飯島小と下新城小の統合検討委員会に、実際の委員ではないが参加して、その状況も踏まえながら、将来的な統合の検討を進めることとしている。

教育長 土崎小、土崎南小の統合準備委員会について、校名がまだ決まっていないが、「土崎小」又は「土崎みなと小」の2案に絞られているということが良いか。

学校適正配置推進室長 そのとおりである。この2案で、お互いに調整をさせていただいているところである。今後のスケジュールからすると、来年度から子どもたちが、交流事業を開始するなど具体的な準備に入るということも踏まえて、校名を決めていただけるようお願いをしている。

教育長 それでは、この件については、統合準備委員会の中で協議を行い、決定していくということか。

学校適正配置推進室長 校名については、統合準備委員会の中での協議事項として

いる。ただし、校名を変更するとなった場合には、その校名が、本当に学校の名前としてふさわしいのかということ、教育委員会内に設置する選考委員会の中でも確認が必要と考えている。

※ 報告(4)については、以上のとおり終了した。

**【その他、今後の日程についての報告】**

総務課長補佐            今後の日程についてお知らせする。2月臨時会を2月27日火曜日午後4時30分から開催し、3月定例会を3月14日木曜日午後3時30分から開催する予定である。

教育長                    2月臨時会は2月27日火曜日午後4時30分から、3月定例会は3月14日木曜日午後3時30分からの開催予定とのことである。委員の皆様、よろしく願います。

午後4時20分閉会